

村岡英樹さん追悼句

一回り若き友逝き胡沙曇り	万里子	春寒や友の絶唱しかと聴く	紀久男
永別やミモザの空の唯青し	全	カントオーネの楽譜棺 <small>(はっぎ)</small> に春のバラ全	
春北斗声朗朗の君逝きぬ	恭延	友逝くや辛夷突き上げ蒼穹へ	全
自在なりし君の閃き春かなし	全	白椿青春だぶる友逝けり	全
電話口君の声なし春時雨	全	友逝くや御霊神社 <small>(ごりょうじ)</small> に一本初桜	全
春なかば壺中天地の主逝けり	明彦	病室の握る手温 <small>(ぬく)</small> し浅き春	市橋伸彦
四季の風追つ駆け春の風と消ゆ	全	ありがとう言いつ重ねつ逝きし春	全
<small>(豊中高校以来の親友新宮晋の「風のキャラバン」)</small>		逝く人や讚美歌ひびき春寒し	全
春昼や受洗体験語る友	全	春の空召されし人よ主 <small>(しゅ)</small> に抱かれ	全
ベランダのアジサイめでし友偲ぶ	全		
天上行く友へ篝火花ミモザ	盛雄	<small>へ村岡さんとの思い出</small>	
来ぬ春を苛立ち隠しぼける友	和夫	野遊びの丘にそびゆる不矩館	明彦
花冷えや先師の油彩画観たき友	全	<small>(天龍市秋野不矩美術館同行)</small>	
アナログの人またひとり鳥雲に	正明	魯山人椿の鉢の干鱈かな	全
泳ぎ来て鳥帰るごと英才の	龍平	<small>(魯山人の陶器を好んだ)</small>	
君逝くか春雨しづか同期会	全	春の夜の更けて「サンボア」ハイボール全	
春の月英才呑みて笑ふ如 <small>(ごと)</small>	全	カントオーネ終へて場末のピヤホール	全
桜散るバリトンの響き深々と	敏郎	春宵一刻血をしたたらせ神戸牛	全
さすらいの白鳥天に飛び立てり	全	銀髪を逆立て論ず春一番	和夫
無念かな夢追い人の花と散る	全	春嵐鬱と言ふ友言はぬ友	全
人はみな消え逝くものよ花吹雪	全	世の中を悲憤慷慨春嵐	全
		泳ぎ了へ生田の杜 <small>(もり)</small> に梯子酒	紀久男
		<small>(ゴンドリエ、来夢来人、アイリーン等)</small>	
聖週間君心酔のマタイ受難曲鳴る	全	暑気払ふ酒宴の <small>メ(しゅ)</small> のカントオーネ全	
マタイ受難曲とは癒しの調べ春の雨	全	カントオーネ本場で唄ふ夏の旅	全
春雨やペテロの否認に涙せり	全	春病棟パバロットイに聴きいりて	全
君偲び春朗々とレクイエム	全	死期近き友のやすらぎ木の芽雨	全
<small>(涙の目)・・・モーツァルトのレクイエム</small>	全		
ラクリモーサ消え入る果てに春の雨	全		

〔略歴〕 昭和十二年生

昭和三十五年神戸大学経営学部卒業後丸紅飯田(株)入社

繊維製品部(寝具用品課)、繊維製品部(室内裝飾課)

繊維資材部(インテリア課)

関連事業部(マドックや日本ボイスメールに出向も)

監査室

平成六年 退社

平成二十二年三月十九日逝去。享年七十二歳